

安全・衛生

総合防災訓練

三総研では、社員、および協力会社の方を対象に、震災や火災などを想定した防災訓練を毎年実施しています。

● 横須賀研究開発センター

横須賀研究開発センターでは、11月13日に震度6弱を想定した地震及び地震に伴う火災を想定した総合防災訓練を実施し、社員や協力会社から573名が参加しました。

大規模地震発生時の初動対応、火災発生時の通報・情報伝達・自衛消防隊による初期消火訓練、避難誘導訓練を行いました。

今回は、更なる安否確認の確実性・迅速性に重点をおき、地震発生後に在館者の安否状況と被災状況を全地区隊より電話等で報告しました。新規取り組みとして、避難場所における安否確認（避難状況）を避難用カードリーダーで確認しました。

また、個別訓練として、水消火器及び屋内消火栓による消火訓練、ジャッキを使った救助・三角巾を使った包帯の作り方・AEDに関する動画上映等の救護訓練、煙体験ハウス及び起震車による体験訓練を実施しました。



総合防災訓練の様子
(横須賀研究開発センター)

● 武蔵野研究開発センター

武蔵野研究開発センターでは、10月10日に地震、および火災を想定した総合防災訓練を行い、社員や協力会社から1,541名が参加しました。

総合防災訓練では、地震発生時の初動対応、建物内からの避難、火災発生時の通報、被害状況の確認と報告を行いました。

新規取組としてJINRIKIを使用したグランド避難、要支援者避難サポートや近隣住民との合同避難訓練(9/26実施)を行いました。訓練を通じて災害時に人命を保護し被害を最小化するため、社員および自衛消防隊員がとるべき基本行動を一連の流れの訓練により社員等一人ひとりが体得し、防災意識の向上を図ることができました。



総合防災訓練の様子
(武蔵野研究開発センター)

● 厚木研究開発センター

厚木研究開発センターでは、10月30日に地震、および火災を想定した総合防災訓練を行い、社員や協力会社から667名が参加しました。

総合防災訓練では、消防機関への早期通報、通行禁止の放送、輻輳に対する通信統制、避難指示など適切に実施されました。

この他にも、個別災害対策訓練による各自衛消防隊機能の強化のため、応急手当救助訓練、階段避難者訓練、実火消火訓練、救命入門講習を実施しました。各部訓練の効果により火災断定から避難広場およびグラウンドへの避難行動が円滑に実施されました。



総合防災訓練の様子
(厚木研究開発センター)

安全・衛生

安全・衛生活動

三総研では、安全で快適な職場環境の維持に努めています。各研究開発センタで働く全ての従業員を対象に、安全教育の実施や講習会などを開催しています。

◆ 安全点検

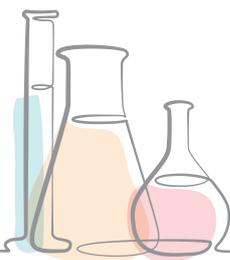
三総研では、職場の安全確保のため、定期的に安全点検を行っています。居室や実験室の巡回を行い、耐震固定、避難通路確保などの確認を行っています。これらの点検に加え、全社員による身の回りの点検を行うことで、安全リスクの低減と意識の向上に努めています。

◆ 薬品取扱いに関する講習会

厚木研究開発センタでは、日々の研究活動を安全に実施するため薬品取扱いに関する講習会を実施しています。実際に起こった薬品使用に関連した事故／ヒヤリハット事例を紹介すると共に、薬品関連の法令解説を実施しました。この講習会には250名が参加しました。



薬品取扱いに関する講習会(厚木研究開発センタ)



◆ 救急救命講習会

武蔵野研究開発センタでは、災害時・緊急時に、救急車到着までの間の応急手当ができる救急救命技能資格者の増強を図るため、心肺蘇生やAEDの操作、けがの手当てなど適切な応急手当についての講習を行いました。

横須賀研究開発センタや厚木研究開発センタでも、同様の講習を行いました。



救急救命講習会(武蔵野研究開発センタ)

◆ レーザ安全講習会

横須賀研究開発センタでは、当センタ内で使用するレーザー機器について、安全性を確保するため、レーザーの安全な取り扱いについての安全教育を毎年実施しております。2018年度は9月12日に実施し、初級編14名、実践編4名、自習編18名が参加しました。



レーザー安全講習会(横須賀研究開発センタ)